



2020年1月31日

各位

会社名 大平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 佐々木 朗
 (コード番号 5541 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 藤山 環
 (TEL 03-3201-6681)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2019年10月31日に発表した2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年10月31日発表)	百万円 47,155	百万円 803	百万円 3,423	百万円 3,221	円 銭 165.14
今回修正予想(B)	45,025	1,410	4,313	4,084	209.39
増減額(B-A)	△2,130	607	890	863	
増減率(%)	△4.5	75.6	26.0	26.8	
(参考)前期実績(2019年3月期)	49,062	176	3,451	3,693	189.37

2. 修正の理由

連結業績予想について、ニッケル事業の主要先であるステンレス鋼業界は、LMEニッケル価格上昇に伴う原料価格の上昇懸念から収益性重視の体制となっており、また、海外の一部生産者のステンレス製品が市場へ大量流入したこともあって、業界全般の生産活動は大きく影響を受けており、不透明な環境が予想されます。そのため、当社フェロニッケル製品の販売については、最適な数量へ調整することにしております。

一方で、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、計画水準の価格帯での推移が予想され、一定の収益は確保できるものと見込まれます。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

●配当予想の修正について

1. 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年10月31日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 50.00
今回修正予想	—	—	—	45.00	65.00
当期実績	—	20.00	—		
前期実績(2019年3月期)	—	20.00	—	35.00	55.00

2. 修正の理由

剰余金の配当につきましては、中期経営計画において、当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつとして位置づけており、企業体質の充実・強化を図りつつ、連結配当性向 30%を目処に実施してまいります。

配当予想については、連結業績予想の修正の結果、上記配当方針に従い、期末配当を 45 円とし、既に行いました中間配当 20 円を含め、通期で 65 円に修正いたしました。

(参考) 前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2019 年 10 月 31 日)	14,889	15,111	30,000	16,271	15,556	31,827	5.90	6.67	6.29	108.52	109.33	108.93
今回修正予想	14,889	13,611	28,500	16,271	15,504	31,775	5.90	6.91	6.39	108.52	108.72	108.62
(参考)前期実績 (2019 年 3 月期)	15,975	16,025	32,000	16,803	16,703	33,506	6.32	5.47	5.89	109.81	111.24	110.53

以上